

エルテップ[®]
Long term eGFR plot (LTEP)
報告サービスを開始します！

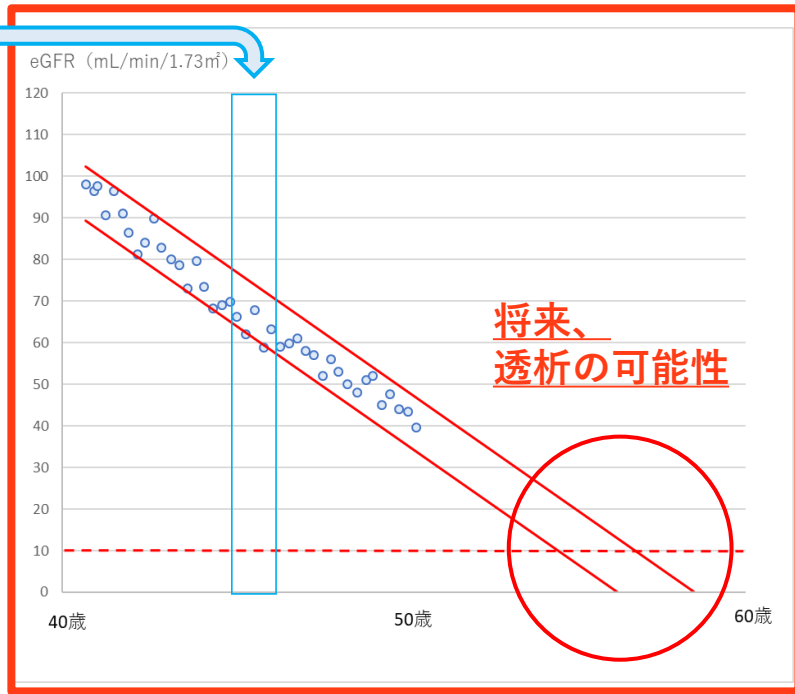
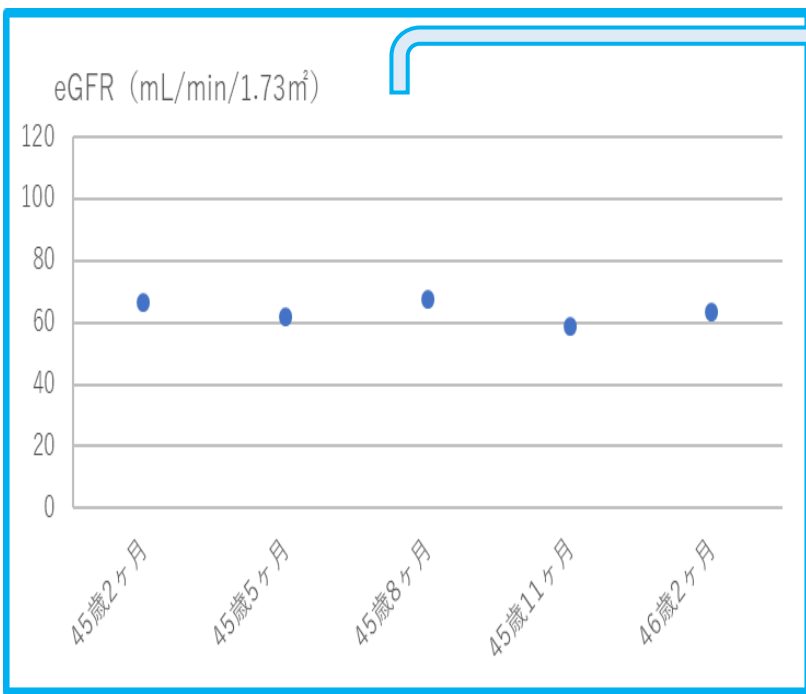
患者様の腎機能低下にいち早く気付くことが可能です

既存の腎機能の見方

Long term eGFR plot (LTEP)

1年間

10年間



短期間では腎機能 (eGFR) は安定して見えますが...

Long term eGFR plot (LTEP) で見ると、腎機能が低下し続けていることが確認できます

Long term eGFR plot (LTEP) とは

推算糸球体濾過量(eGFR)を中心に慢性腎臓病診療に関連する項目の**長期推移を一括して表示**する図表です。

日々のeGFR変動により、短期間では見逃す恐れがあるeGFRの低下の推移を一目で確認できるため、早期発見・早期介入・治療効果の確認に活用されています。

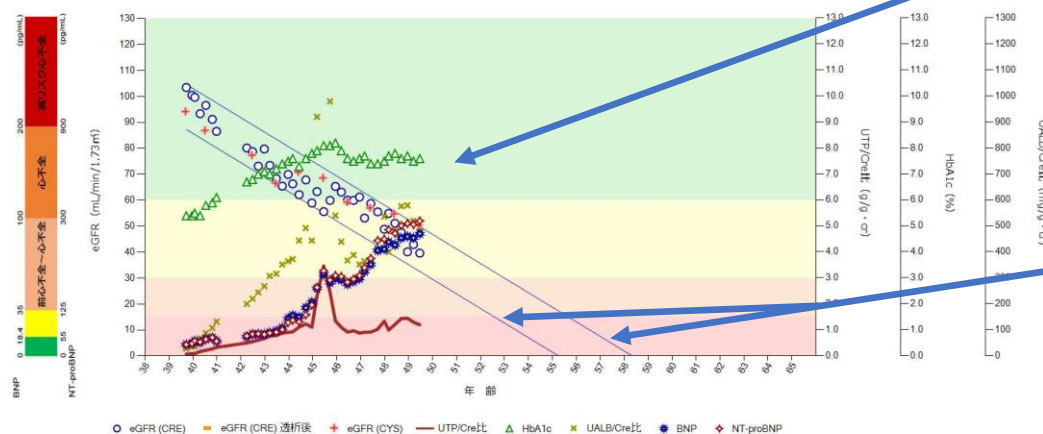


Long term eGFR plot (LTEP) 報告書について

Long term eGFR plot 報告書

Page 1 / 2

99999000 消化器科 2F テストDr
 テストクリニック 様 採血日 '24/06/19 尿量 12345 ml
 00099999 LTEP テスト 様 77-999-001 受付日 '24/06/19
 男性 昭和 50/8/2 生 49 才



最大 過去10年間の eGFRの推移に加え、尿アルブミン/Cre比、尿蛋白/Cre比、HbA1c、BNP等をプロットします。

プロットされたeGFRの近似直線に変動幅を加味した、eGFR推移補助線を表示します。
 ※過去5年以上のeGFR値が必要です。詳細はQ&Aをご参照ください。

eGFR値データの存在する期間: 2014/09/20 ~ 2024/06/19

Δ eGFR(mL/min/1.73m ² /年)	年単位の変化速度	-5.6
eGFR変動(mL/min/1.73m ²)	eGFR値の変動幅	17.3

eGFRの年単位の変化速度、および変動幅を表示します。
 ※詳細はQ&Aをご参照ください。

No	西暦(年月日)	年齢	eGFR(CRE)	eGFR(CYS)	UALB/Cre比	UTP/Cre比	HbA1c	GA	BNP	NT-proBNP
1	2014/09/20	39	103.4	94.0	28.3	0.07	5.4	14.6	10.0	30
2	2014/12/15	39	100.4		36.3	0.09	5.4	14.6	11.0	33
3	2015/01/27	39	99.6		36.9	0.09	5.5	14.9	13.0	40
4	2015/04/19	39	93.3		68.1	0.17	5.4	14.6	12.0	37
5	2015/07/15	39	96.5	86.5	88.0	0.22	5.8	15.7	15.0	44
6	2015/10/22	40	91.1		108.0	0.27	5.9	15.9	16.0	49
7	2015/12/25	40	86.5		132.1	0.33	6.1	16.5	13.0	39
8	2017/03/30	41	80.1		200.1	0.50	6.7	18.1	17.0	53
9	2017/06/27	41	78.7	77.1	220.4	0.55	6.8	18.4	19.0	58
10	2017/09/22	42	73.1		244.9	0.61	7.0	18.9	19.0	59
11	2017/12/23	42	79.7		268.4	0.67	7.1	19.2	19.0	57
12	2018/03/16	42	73.4		308.1	0.77	7.0	18.9	20.0	61
13	2018/06/24	42	68.3	66.2	316.3	0.79	7.2	19.4	21.0	63
14	2018/09/23	43	65.4		352.3	0.88	7.4	20.0	23.0	70
15	2018/12/21	43	69.9		364.6	0.91	7.5	20.3	29.0	89
16	2019/03/01	43	66.3		372.8	0.93	7.6	20.5	31.0	95
17	2019/06/06	43	62.1	70.5	444.6	1.11	7.3	19.7	30.0	91
18	2019/09/17	44	67.8		492.2	1.23	7.6	20.5	36.0	110
19	2019/12/18	44	58.9		444.5	1.11	7.8	21.1	40.0	133
20	2020/03/05	44	63.3		920.8	2.30	7.9	21.3	50.0	167

※ 検査結果がグラフの目盛りスケールオーバーのため、グラフには非表示となります。

LTEP報告書掲載項目の結果値一覧を表示します。

FALCO

株式会社ファルコバイオシステムズ

LTEP報告書掲載項目

腎機能

eGFR

eGFR(cys)

尿アルブミン/
クレアチニン比

尿蛋白/
クレアチニン比

糖尿病

HbA1c (NGSP)

グリコアルブミン
(GA)

心不全

BNP

NT-proBNP

Long term eGFR plot (LTEP) 報告サービス Q&A

Q1. LTEP報告サービスの利用料金は必要でしょうか。

A. セッティング費用として10,000円（税抜）を申し受けます。

Q2. LTEP報告書を見るためにどのような検査項目を依頼するのでしょうか。

A. LTEP報告書掲載項目のいずれかをご依頼ください。尚、尿アルブミンや尿蛋白は尿クレアチニン比の検査コードでご依頼ください。

Q3. LTEP報告書はどのタイミングで更新されるのでしょうか。

A. LTEP報告書掲載項目の検査結果を受信したタイミングで更新されます。

Q4. 過去に依頼した検査結果をLTEP報告書に反映できるのでしょうか。

A. 過去10年間の検査結果を報告書に反映します。
尚、eGFR推移補助線の表示には、過去5年以上のeGFR値の結果が必要となりますが、設定により表示は可能です。

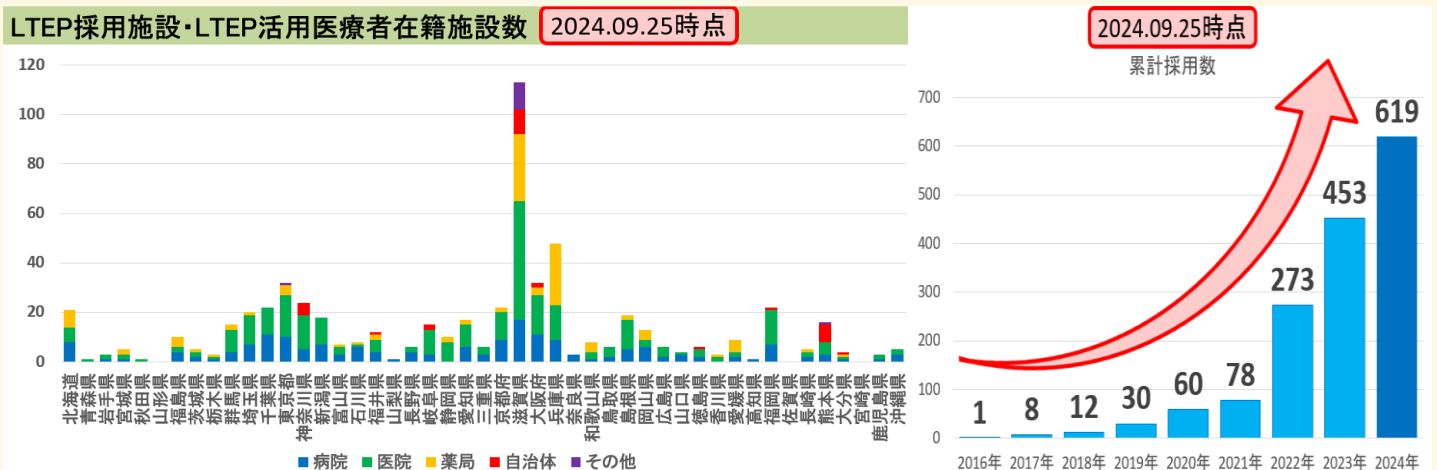
Q5. eGFR値の Δ eGFR（年単位の変化速度）と変動幅はどのように解釈すればよいでしょうか。

A1. Δ eGFRは健常者で $-0.3 \sim -0.5$ (mL/min/1.73m²/年) 程度、高齢者でも -1.0 (mL/min/1.73m²/年) 程度とされており、これより負の値が大きい場合には、より腎機能低下速度が速いことを意味します。
特に、 -5.0 (mL/min/1.73m²/年) より負の値が大きい場合は、rapid progression と定義され、より注意が必要です。

A2. eGFR変動は個人差が大きいです。10~20 (mL/min/1.73m²) 程度の症例が多いです。(Nakazawa J, et al. Intern Med.2022;61(12):1823-1833)
このため、3年未満のeGFR値における Δ eGFRは誤差が大きく、5年間以上のeGFR値における Δ eGFRでの評価を推奨しています。

Q6. LTEPは、全国的にどの程度普及しているのでしょうか。

A. 2024年9月時点で600以上の医療機関等で活用されています。
また、近年では自治体における採用も増加しています。



ご利用に関しましては、営業担当にお問い合わせください

